

第2回審議会で頂いたご意見と、第2期総合戦略（案）への反映について

番号	頂いたご意見（要旨）	第2期総合戦略（案）への反映	
1	【検証】公共交通計画の改定については、早急に、力を入れて実施する必要がある。	「ましきまち戦略会議2020」において、戦略実行に向けた具体的なアクション案を議論する際に、重要なテーマの一つとして取り上げさせていただきました。	戦略会議
2	【検証】「3-① 地域の特性を活かした特色ある教育環境づくり」において、教育現場におけるICT環境の整備を行うとされているが、パソコンタブレットや無線LANといったハードの整備だけでなく、教育コンテンツの充実にも力を入れる必要がある。	総合戦略本文での表現については、P21の「カリキュラムを基本としながら、その時の状況に沿ったICTを活用した教育プログラムを導入・実施していきます。」をベースとしつつ、「ましきまち戦略会議2020」にて戦略実行に向けた具体的なアクション案を議論する際に、重要な提案として取り扱わせていただきました。	戦略会議
3	【検証】「2-① 地域資源のブラッシュアップ」において、「益城町」という名前を前面に出して売り出していくと良い。シールやロゴを作ったり、益城町のものを中心に売り場を構成する等の工夫があると良い。	総合戦略本文の表現については、P17の「益城町」という名を冠して町内外の様々な場所や方法（インターネット通販等）で購入できるようにすることで、本町に対する認識・認知をより一層高めていくことを狙います。」をベースとしつつ、「ましきまち戦略会議2020」にて戦略実行に向けた具体的なアクション案を議論する際に、重要な提案として取り扱わせていただきました。	戦略会議
4	【検証】中国・関西・関東からの教育旅行の誘致が移住定住につながる、というのは厳しいのではないかと。移住定住につなげていく、ということであれば、熊本県内からの教育旅行を積極的に誘致した方が良いのではないかと。	ご意見の通り、「移住定住の増加」につなげるためには、近隣自治体からの教育旅行の誘致が有効ですので、その点にも力を入れていきたいと思っております。一方、総合計画で掲げている「日本の防災・減災をけん引するまちづくり復興プロジェクト」にもつながる取組として、全国も対象として行っていきたいと考えております。	回答
5	【第2期案】「～とさせていただくことを」という表現を、政策目標1にも入れた方が良くと思う。	政策目標1の基本的方向（P11）の末尾に、「これらの取組を通じて、SDGsの概念（「3.すべての人に健康と福祉を」「11.住み続けられるまちづくりを」「13.気候変動に具体的な対策を」「15.陸の豊かさを守ろう」「17.パートナーシップで目標を達成しよう」）に沿ったまちづくりを実現することで、特に、若い世代や女性に、「安全・安心」や「快適・便利」を感じていただくことを基本的方向とします。」という表現を付け加えます。	本文
6	【第2期案】広報誌に「ママさん編集室」を設けて、情報を持っている地元の人が発信者となるような仕掛けを実現できると良い。	総合戦略本文の表現については、P17の「既に多くの地域や住民がこの取組に着手されていますので、その動きを継続していけるよう、行政も一緒になって取組を推進していきます。」をベースとしつつ、「ましきまち戦略会議2020」にて戦略実行に向けた具体的なアクション案を議論する際に、重要な提案として取り扱わせていただきました。	戦略会議
7	【第2期案】「特産品の開発」という点について、企業とのタイアップや町民との連携が重要。その上で、「何を作るのか」もクリアしていく必要がある。	「ましきまち戦略会議2020」にて戦略実行に向けた具体的なアクション案を議論する際に、重要な提案として取り扱わせていただきました。	戦略会議
8	【第2期案】「一か所に行けば何でもそろそろ」というような商店がない状態では人は増えないと思う。個人商店よりも、何でも買える大きな店を持っていくと良い。	総合戦略本文での表現については、P26の「土地や、市街地部及びその付近で業務用途に適した土地等を活用しながら、それぞれの土地の特性に合致し、かつ、特に若い世代や女性の雇用機会創出につながる企業誘致を推進していきます。」をベースとしつつ、「ましきまち戦略会議2020」にて戦略実行に向けた具体的なアクション案を議論する際に、重要な提案として取り扱わせていただきました。	戦略会議
9	【第2期案】就労や起業する若い人が町に来た時、結婚というのは課題になる。お見合いがある、などの結婚の施策も入れた方が良く。	「ましきまち戦略会議2020」にて戦略実行に向けた具体的なアクション案を議論する際に、重要な提案として取り扱わせていただきました。	戦略会議

番号	頂いたご意見（要旨）	第2期総合戦略（案）への反映	
10	【第2期案】「海外との交流」という施策が入っていた方が良い。	総合戦略本文での表現については、P16の「歴史的な繋がりや社会環境的に類似した部分を持つ国外の自治体との連携も積極的に推進していきます。」及びP22の「本町と深い関係を持つ国内外の学校機関とのさらなる連携強化についても推進していきます。」をベースとしつつ、「ましきまち戦略会議2020」にて戦略実行に向けた具体的なアクション案を議論する際に、重要な提案として取り扱わせていただきました。	戦略会議
11	【第2期案】女性の活躍に向けては、一時保育とテレワークできる部屋が一体となっているような場所があると良い。 「益城町ではお惣菜が安く買える」とか、「晩御飯を作らなくて良い」とか、「お母さんを助けてくれる町」というのが良い。	P24の政策目標3・基本施策③の事業②「女性の活躍を支援する取組の推進」について、下記のように修正します。 「女性向け講座・研修会の開催等を通じて、女性が自ら活躍していくために必要なスキル等を習得できる機会の創出を図っていきます。また、女性が安心して働くことのできるための「場」や「つながり」の創出にも積極的に取り組んでいきます。」 加えて、「ましきまち戦略会議2020」にて戦略実行に向けた具体的なアクション案を議論する際に、重要な提案として取り扱わせていただきました。	本文 戦略会議
12	【第2期案】女性に住んでもらうためには、女性を雇用することができる大きな製造業を誘致すると良い。	総合戦略本文での表現については、P26の「土地や、市街地部及びその付近で業務用途に適した土地等を活用しながら、それぞれの土地の特性に合致し、かつ、特に若い世代や女性の雇用機会創出につながる企業誘致を推進していきます。」をベースとしつつ、「ましきまち戦略会議2020」にて戦略実行に向けた具体的なアクション案を議論する際に、重要な提案として取り扱わせていただきました。	戦略会議
13	【第2期案】交流人口増に向けて、地元の人が作った特産品を定期的に開催する朝市で発信していく、というやり方もある。それが習慣づいていって名物・歴史になる、という考え方もある。町の風情を伝えるためには横町線での開催も考えられるのではないかな。	総合戦略本文の表現については、P17の「益城町」という名を冠して町内外の様々な場所や方法（インターネット通販等）で購入できるようにすることで、本町に対する認識・認知をより一層高めていくことを狙います。」をベースとしつつ、「ましきまち戦略会議2020」にて戦略実行に向けた具体的なアクション案を議論する際に、重要な提案として取り扱わせていただきました。	戦略会議
14	【第2期案】女性にとって、「仕事もして、子供も育てて」というのはきつい。他の協力が必須。 そのためには、男性の協力が必須。男女問わず「働き方の見直し」がないとお母さんはもたない。社会的資本や子育てをバックアップするような制度を加味することで、何とかやっていけるような状況を作る、ということ。	P24の政策目標3・基本施策③の冒頭の文章について、下記の一文を付け加えます。 「また、さらなる女性の活躍のためには、男女問わず「働き方の見直し」も必要です。意識の啓発や実現に向けた環境づくりにも取り組んでいきます。」 加えて、「ましきまち戦略会議2020」にて戦略実行に向けた具体的なアクション案を議論する際に、重要な提案として取り扱わせていただきました。	本文 戦略会議
15	【第2期案】「心豊かな暮らし」はあまりインパクトがない。ひっかかるような表現が重要。「ちょっとよくばりな暮らし」というような表現が良いか。	P6とP11の「心豊かな暮らし」という表現につきましては、「 ちょっとよくばりな暮らし 」という表現に修正させていただきます。 さらに、P6の（3）「第2期益城町まち・ひと・しごと創生総合戦略」策定の目的の文章について、「特に若い世代や子育て世代の人が 多様な人々と支えあいながら、仕事や結婚・出産・子育てにおいて「人と、まちと、自然と、そして世界とつながる」暮らし、すなわち「ちょっとよくばりな暮らし」 を実現できるまちを目指します。」と修正させていただきます。	本文

番号	頂いたご意見（要旨）	第2期総合戦略（案）への反映	
16	【第2期案】ICTを活用しながら子供の見守りをしっかりやっていく、というのも子育てにつながると思う。	P12の政策目標1・基本施策①・事業①（自主防災組織設立・運営等の支援）の表現について、「自助・共助の観点から、日頃からの防災意識の向上、ICT等の技術も活用した地域の見守り、避難訓練の実施、震災が起きた場合の避難所運営等の実施基盤となる自主防災組織の設立・運営等をさらに支援していきます。」と修正させていただきます。 加えて、「ましきまち戦略会議2020」にて戦略実行に向けた具体的なアクション案を議論する際に、重要な提案として取り扱わせていただきました。	本文 戦略会議
17	【第2期案】「SDGs」と「Society5.0」という表現が、本文にあまり出てこない。戦略的にそういう文言を散りばめておくという、表現上の工夫も必要と思う。	各政策目標の「基本的方向」に、下記のような表現を付加したいと思います。 （政策目標1（P11）） 「本町の復興からの将来像を見据えたまちづくりを、 Society5.0等の新たな社会・技術の動きも積極的に活用しつつ 、住民、民間団体、関係機関、行政等で連携して推進します。」 （末尾追加）「これらの取組を通じて、 SDGsの概念（「3.すべての人に健康と福祉を」「11.住み続けられるまちづくりを」「13.気候変動に具体的な対策を」「15.陸の豊かさを守ろう」「17.パートナーシップで目標を達成しよう）」に沿ったまちづくりを実現することで、特に、若い世代や女性に、「安全・安心」や「快適・便利」を感じていただくことを基本的方向とします。」	本文
		（政策目標2（P17）） 「今後は、 Society5.0等の新たな社会・技術の動きも積極的に活用しながら 、本町のマイナスイメージを払拭するための事業を実施し、～」	
		（政策目標3（P21）） 「本町では、 SDGsの概念（「4.質の高い教育をみんなに」「5.ジェンダー平等を実現しよう）」に沿いながら、Society5.0等の新たな社会・技術の動きも積極的に活用し 、「結婚・出産・子育て」を通じた一貫して切れ目ない支援と、地域や社会で子育てを支える環境づくりを推進した上で、～」	
		（政策目標4（P25）） 「今後は、行政や関係機関、産業同士が連携した 体制の構築や、Society5.0等の新たな社会・技術の動きの積極的な活用を通じて、積極的な企業誘致や農業の活性化・農業体験機会の創出、商業の活性化・新規起業支援の体制づくり等 、町の「しごと場」としてのポテンシャルを最大限に引き出すための取組を推進し、 SDGsの概念（「8.働きがいも経済成長も）」にも沿った、魅力ある「しごと」の場を創出していくことで、～ 」	